

高校生が進学先、就職先が決まった瞬間からやるべきこととは

— IT のスキル向上と高校英語の総復習 —

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日 1 月 19 日(土)と明日 20 日(日)は大学入試センター試験があり、何十万人もの高校 3 年生や卒業生が自分の行きたい大学を目指して試験を受けています。そこで、少し早いかもしれませんが、高校を卒業してから大学等に進学するまで、また、就職をするまでに約 2 か月間ありますので、この期間に何をしたらよいのかというお話をさせていただきたいと思います。
3. 高校を卒業して大学や短期大学、専門学校などの進学先に入学するまで、また、就職をなさる方については就職するまでに何をしたらよいのかというのは、非常に大事なテーマだと思います。今日、明日大学入試センター試験を受けている方にとっては少し早いかもしれませんが、行くべき大学等や進路がもうすぐ決まりますので、決まった瞬間から何をしたらよいのか。また、推薦入学やいろいろな入学試験で入学が決まっている方や就職が決まっている方もたくさんいらっしゃると思います。忙しい忙しいと気ばかり急いで何もしないで 4 月を迎えてしまう方が多いですので、今日は 2 つのことをこの放送をお聴きの皆さんと一緒に考えたいと思います。
4. 進学先の大学等や就職先の職場でも必要なのが IT のスキルです。情報処理能力というのは、大学や短大・専門学校に進学したり就職したりしても避けて通ることはできません。特に、大学に進学される方については、「単位の履修申告についてはすべて Web 上で」という大学がたくさんあります。IT のスキルなしでは大学の単位履修といいますか、どの科目を取るかという意思表示すらできなくなってしまうのです。大学・短大・専門学校では、レポートはメールで提出が求められたり、研究発表はパワーポイントで行ったりすることが多いので、IT のスキルを余程上げておくことが求められます。また、職場に入りますとすぐにコンピュータのスキルが要求されます。ですから、大学・短大・専門学校に進学する方や就職をなさる方で、もし IT のスキルが十分でない方は、今から 3 月末までの約 2 か月間で、必死になってワードやエクセルなどのコンピュータを用いた情報処理のスキルを身に付けることをお勧めします。これが 1 つです。IT は本当に必要ですので、楽しくメールなどをするのもよいですが、4 月から自分の勉強や仕事で本格的に使えるように IT の本格的な勉強をした上でスキルアップを図っていただければと思います。
5. もう 1 つは、英語ですね。英語によるコミュニケーション能力は、大学・短大・専門学校に進学なさる方も必要です。また、就職なさる方も必要不可欠です。ですから、高校卒業までに英語によるコミュニケーション能力をもう 1 回磨き上げてから、大学等や職場に行っていただきたいと思い

ます。では、どのように磨き上げるか。高校3年分の英語の教科書をこの2か月間でもう1回総復習し、そのすべてを身に付けてから大学・短大・専門学校、それから職場に進むことを私は心からお勧めします。

6. もっと言えば、進学先の大学の多くや就職先の会社の多くでは、TOEIC という実務英語検定試験の結果がつねに求められます。高校生は、今、英語を勉強していて頭の冴(さ)えている方が多いと思いますので、頭が冴えている今の内に、1日も早く TOEIC の勉強をスタートすることをお勧めします。

7. TOEIC は全部で 200 問で、1 問 5 点の点数で評価される 990 点満点のテストです。200 問中の 100 問はリスニング(聴き取り)、40 問は高校レベルのあまり難しくない基本英文法、60 問は読解の問題です。文法については、高校の英語の教科書や桐原書店の「総合英語フォレスト」という参考書で十分です。「読んでわからないことは聴いてもわからない」ことが多いので、リスニングと読解の対策として TOEIC の公式問題集が 5 冊出ていますので、それらのリスニング問題と読解問題の全問をまずは目で読みながらすべて解くことです。もしわからない語句がありましたら、英和辞典、元気な人は英英辞典を引きながら丁寧に丁寧に勉強していただくとよいと思います。そうすると、TOEIC に出題される単語がかなり身に付きます。辞書で調べた語句はその意味を意味調べノートに必ず書き写し、書き取り練習。その意味調べノートを最初のページからゆっくりと1日1回以上音読をすると、語彙が飛躍的に増えます。さらに、公式問題集は5回繰り返してやることをお勧めします。一語でもわからないことばがあったら辞書を引いて丁寧に調べ、それを単語帳やカードに書き写します。そして、それらがすべて読めて書けるようになるまで音読練習と書き取り練習をすると、ことばの数が飛躍的に増えて、大学等に進学したり社会に出たりしても非常に役に立ちます。さらに、リスニング対策としては、公式問題集の CD を何回も、何十回も、何百回も繰り返し聴き、聴く力を付けるとよいと思います。

8. さらにその先のお話をしますと、大学4年生になると就職活動が始まります。そのときから TOEIC に挑戦するのもよいですが、準備なしでは「時すでに遅し」で、よい点数がなかなか取れません。大学を卒業後に大学院に進学する場合も、英語の能力を証明するために TOEIC や TOEFL の点数の提示が求められます。高校で受験勉強をしているその続きで TOEIC の勉強をすると、非常に頭が冴えているときに勉強が始まることになり、就職活動や大学院進学のために大学でわざわざ TOEIC の勉強をする必要がなくなります。ですので、ぜひ早いうちから始めていただければと思います。また、中学生は早めに英語検定の準2級、高校生は2級を取得して、TOEIC に挑戦するとよいと思います。

9. 繰り返しになりますが、進学先や就職先が決まった瞬間から高校を卒業するまでに本格的な IT のスキルを身に付けて、ワードやエクセルのスキルを磨き込む。また、高校の英語の教科書をもう一回勉強し直して、高校や大学を卒業後に就職活動や仕事、大学院入試に必要な TOEIC の試験に挑戦なさることをお勧めします。大切な時期ですので、無駄に過ごさないようにしていただきたいと思います。また、一生の英語の勉強とコンピュータの勉強を今するんだという心構えで、これからの2か月間を過ごしていただければ有難いなと思います。ぜひよろしくお願ひします。

— 2013年6月12日加筆・訂正、林明夫 —